

広報 あいかわ

みなさんの健康相談日
毎月1日 日曜日のときは翌日
朝10時～4時まで
担当 町保健婦
多数のご相談をご期待しております。
場所は 合川町公民館
※新春1月は5日に開きます

町のお金は
こう使われている

町民のみなさんが納めた税金や、その他の町の収入が、どのように使われているのか、また町政が、どんな方向に進んでいるのだろうか...などを詳しく知っていただくために、町の財政状況を報告し、みなさんの正しい理解によって、明るく住みよい町づくりをすすめるためにこの白書をつくることにしました。
今回は、昭和四十六年度の予算と昭和四十五年度の決算の概況について公表することにします

昭和四十六年度
当初予算を中心に

昭和四十六年度一般会計当初予算の総額は、六億七千二百一十一万円で、補正二千六百三十三万四千円を加え、現計(昭和四十六年十一月三十日現在)総額六億九千七百五十四万四千円となっています。
この予算は、町民生活の充実向上を図ってゆく見地から、国・県の財政動向を見究めながら財源の把握につとめ、効率的な予算の配分を行って重点施策を推進し、財政体質にも考慮するなどを基本として編成したものです。

自主財源の
確保が課題

歳入のうち、一般財源としての町税は、五千五十八万八千円を見込んでいますが、これは総体の一割にも満たない七・五%です。

昭和46年度
一般会計当初予算

(第1表) (歳入)

Table with 2 columns: 款別 (Category) and 予算額 (Budget Amount). Rows include 町税, 自動車取得税, 地方交付税, etc.

(歳出)

Table with 2 columns: 款別 (Category) and 予算額 (Budget Amount). Rows include 議会費, 総務費, 民生費, etc.

当面する
今年の重点事業

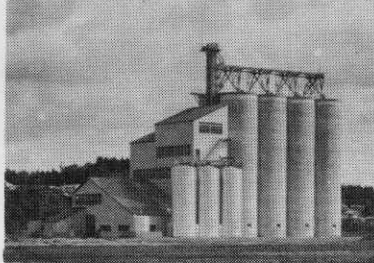
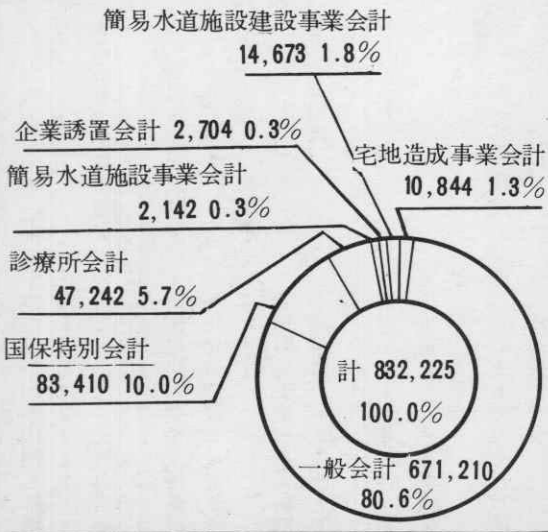
当面する主な事業を見てみると農林業部門では、カントリーなど農業構造改善事業に一億二千四百万円、林業構造改善事業費一千五百万円、圃場整備事業に伴う休耕補償金、県町負担分、三千二百万円となっています。
総務部門では、町営林事業が大きなウェイトを占めており、作業員八十人が計画的に新植、撫育などの財産造成、管理を進めています。

農林水産業
費がトップ

歳出を性質別に見てみると、普通建設事業費が三億四千五百三十三万九千九百円、全体の五〇・九%と大幅に増えています。
災害復旧事業費は、五百七十七万六千円で、〇・九

続いて、北小学校の建築費を含む教育費が、一億四千七百万円、そして総額費社会福祉関係費が続いています。

(第2表) 昭和46年度会計別予算



新農村の拠点となる
カントリーエレベーター



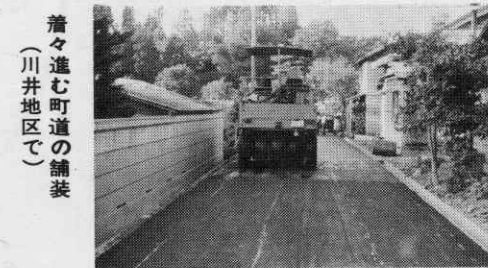
鉄筋校舎の第二号
北小学校の改築



車も通れる林道に整備
(林業構造改善事業)



町営林一千ヘクタールの
達成めざして



着々進む町道の舗装
(川井地区で)

町道の整備については、国・県の制度をフルに活用して改良や舗装を進めています。
今年当初予算に約三千万を見込み、今後見とおしのつき次第補正しながら整備を進めます。
町民福祉の部門では、老人・婦人・青少年の健康と生活環境の整備を、きめこまやかに進めておりますが、中でも児童の完全保育、と健全育成、健康な子どもを育てる条例に伴う各種手当など二千九百万円、さらに胃、脳卒中・子宮ガン、結核検診などの町民負担をなくするための町負担、三百万円などを見込んでいます。

(第4表) 町税 (1人当り)
(5,500円) の内容
—昭和46年度—

Table with 4 columns: 税目 (Tax Item), 税額 (Tax Amount), 比率 (Ratio), 町民1人当り (Per Person). Rows include 町民税, 固定資産税, etc.

(第5表) 町営林の概況

Table with 5 columns: 区分 (Category), 管理面積 (Managed Area), 造林面積 (Planted Area), 造林率 (Planting Rate), 比率 (Ratio). Rows include 直営林, 官行造林, etc.

(第6表) 町有財産



(第3表) 昭和46年度一般会計歳出性別分

Table with 2 columns: 人件費 (Personnel Costs) and 歳出合計 (Total Expenditure). Rows include 人件費, 物件費, 維持補修費, etc.

# 昭和四十五年 度の決算から

## 前年度決算 健全財政を維持

昭和四十五年年度決算は、去る九月定例会で認定されましたが、一般会計の外、国民健康保険事業、簡易水道施設事業、企業誘致、宅地造成事業など四特別会計の合計は、歳入八億一千六百七十八千円で、歳出八億二千三百三十三千八百円を差引きますと、一千三百七十四万円の黒字となり、第1表のように、いよいよ健全財政を維持していることとなります。

とする農林水産業費は一九・二%となり、新しい農林づくりの下地が生れた。社会福祉宣言の町を肉づけした民生費一六・四%、そして人件費などを中心にした総務費一五・〇%の順となっています。

## 国への依存 度七・五割

### 農林、大巾に伸びる

一般会計の内容は、第2表のとおり、六億二千七百四十三千円であるが、建設事業に対する投資額は約三億円、ほぼ五〇%となっています。

物価値上がりに伴う物件費の増加、給料引き上げなど財政運用にかなりの困難がありました。住民を初め役職員の一致協力の努力の結果、町政発展の実をあげることができました。

歳入の主なもの、地方交付税三四・〇%、国庫費支出金一六・五%、地方債二四・四%と、国・県に依存する割合は、七四・九%とおどろくべき高率を示しています。

歳出は、学校建築、プール建設など教育費が、二七・七%と筆頭にあり、第二次農業構造改善事業を内容

八世帯で、被保険者の数は六、六二九人となっています。一世帯当りの保険税調定額は、一六、一三〇円であり、この額は税金を上げないで据置きをしたものです。被保険者一人当りの税額調定額三、九八九円であるが、一人当りの費用は、一一、一七円かかっていることになっています。

十八万円で、実質収支額七十六万三千円が次期へ繰越されることとなります。この主なものは、大野台内陸工業団地五千二百ヘクタールの団地購入費や団地周辺の宅地造成事業費などとなっています。

合川町宅地造成事業特別会計決算は、歳入歳出とも一千三百四十九万七千円であり、これは合川駅前住宅用地造成のための費用となつていきます。

三会計ともそれぞれ目的を達成しています。

## 町債で 中広い事業を

昭和四十五年年度決算の時点における起債の総額は、三億五千三百八十三万円であり、このお金が多様な事業に使われたものであることは、第4表が示すとおりです。

義務教育施設整備事業債の七千六百万円をトップに厚生福祉施設整備事業の六千五百万円と続き、災害復旧債五千二百万円などとなっています。

これは借りたものですが、償還しなければならぬことは当然であり、災害復旧や減税補てん債など、その償還額の大部分が国から交付税、補助金などによって措置されるものや住民に転貸されている起債なども含まれていることは当然です。

## 三特別会計も 目的を達成

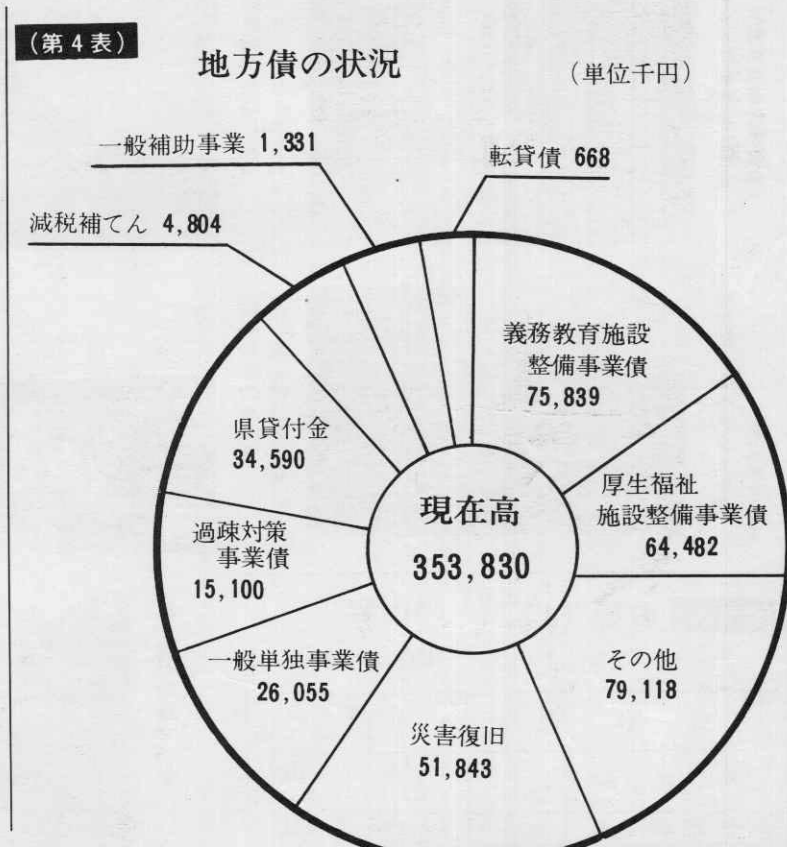
### 国保は 単年度黒字

国民健康保険特別会計は、昭和四十五年年度の決算において、歳入八千四百六十五万、歳出七千八百九万四千円、実質収支額六百五十五万六千円となり、前年度繰越金を除くと単年度において四百十三万四千円黒字を出しました。

企業誘致特別会計決算は、歳入総額八千七百四十四万二千円、歳出総額八千六百三



新農村夜明けの年（昭和45年）



建設課からのお願い  
路上に車をおきません  
除雪に協力しましょう

(第5表) 昭和45年度市町村税 (単位千円)

区分	決算額	構成比
市町村 個人分	16,537	29.9%
民 税 法人分	396	0.7
固定資産税	19,658	35.5
軽自動車税	2,651	4.8
たばこ消費税	8,137	14.7
電気ガス税	3,594	6.5
木材引取税	4,346	7.9
合計	55,319	100.0

昭和45年度一般会計決算 (第3表) (単位千円)

人件費	107,237	17.3%
扶助費	6,375	1.0%
公債費	35,875	5.8%
物件費	49,382	8.0%
維持補修費	12,014	2.0%
補助費等	79,869	12.9%
積立金	1,526	0.2%
投資及び出資金・貸付金	16,440	2.6%
繰出金	4,251	0.6%
投資的経費	307,774	49.6%

(第2表) 昭和45年度決算分析(一般会計) (単位千円)

[歳入]		[歳出]			
区分	決算額	構成比	区分	決算額	構成比
地方税	55,319	8.8%	議会費	12,830	2.1%
軽油・自動車交付金	5,378	0.9	総務費	93,494	15.0
地方交付税	213,147	34.0	民生費	102,033	16.4
使用料	6,702	1.0	衛生費	26,682	4.3
手数料	889	0.1	労働費	999	0.2
国庫支出金	48,199	7.7	農林水産業費	119,098	19.2
県支出金	55,124	8.8	商工費	450	0.1
財産収	51,006	8.1	土木費	26,564	4.3
寄付入金	11,177	1.8	防費	26,075	4.2
繰入金	3,100	0.5	教育費	147,136	23.7
繰越金	6,738	1.1	災害復旧費	20,705	3.3
諸収入	17,614	2.8	公債費	35,875	5.8
地方債	152,700	24.4	諸支出金	8,802	1.4
合計	627,093	100.0	合計	620,743	100.0

(第1表) 昭和45年度合川町歳入歳出決算総括表 (単位千円)

一般会計	歳入	歳出	国保特別会計
627,093	816,078	802,337	78,094
国保特別会計			78,094
84,650			簡易水道施設事業特別会計
簡易水道施設事業特別会計			3,623
3,696			企業誘致特別会計
企業誘致特別会計			86,380
87,142			宅地造成事業特別会計
宅地造成事業特別会計			13,497
13,497			